



平成 29 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 豊 商 事 株 式 会 社  
 代表者の役職名 代表取締役社長 安 成 政 文  
 ( J A S D A Q ・ コード番号 8 7 4 7 )  
 問 合 せ 先 専務取締役管理本部長 多々良 孝之  
 電 話 番 号 ( 0 3 ) 3 6 6 7 - 5 2 1 1

## 平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結及び個別業績見通しに関するお知らせ

平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)の連結及び個別業績につきましては現在集計中ですが、決算の概要がまとまりましたので速報値としてお知らせいたしますとともに、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みですので、下記のとおりお知らせいたします。

## 記

## 1 . 平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績速報値及び業績の差異

## (1)連結

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益
当第 2 四半期連結累計期間速報値 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間) (A)	1,584	397	367	404
前 年 同 期 実 績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間) (B)	1,659	369	299	310
増 減 額 ( A - B )	74	27	67	94
増 減 率 ( % )	4.5	-	-	-
( 参 考 ) 平 成 2 9 年 3 月 期 実 績	3,536	470	384	441

## (2)個別

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期(当期) 純利益
当第 2 四半期個別累計期間速報値 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間) (A)	1,561	387	340	375
前 年 同 期 実 績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間) (B)	1,674	316	214	222
増 減 額 ( A - B )	113	71	126	153
増 減 率 ( % )	6.8	-	-	-
( 参 考 ) 平 成 2 9 年 3 月 期 実 績	3,497	423	296	347

## 2. 差異が生じた理由

### (1) 連結業績見込み

平成30年3月期第2四半期累計期間の我が国経済は、日本銀行による金融緩和政策が継続される中、企業部門では輸出が持ち直し生産活動の回復が続き、家計部門でも雇用所得情勢が堅調に推移しており、先行きも緩やかに回復する見通しであります。

一方、世界経済は、米国ではハリケーン対策を契機に暫定的に予算並びに債務上限免除が決定したことにより財政リスクが後退し、堅調な企業業況を背景に景気拡大を継続しております。中国では過剰債務問題への対応として、企業のデレバレッジに向けた政策対応の本格化により一定の成果が見受けられるものの、景気はピ-クアウトの兆しがみられております。しかしながら世界経済全体では緩やかな回復を維持する見込みであります。

このような環境のもとで、商品先物取引の総売買高は969千枚(前年同期比8.2%増)及び金融商品取引の総売買高は921千枚(前年同期比17.7%減)となり、受取手数料は1,551百万円(前年同期比6.4%減)、売買損益は31百万円の利益(前年同期は0.7百万円の損失)となりました。以上の結果、営業収益1,584百万円(前年同期比4.5%減)、経常損失367百万円(前年同期は299百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失404百万円(前年同期は310百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)を計上する見込みであります。

### (2) 個別業績見込み

個別業績の対比につきましては、連結業績見込みと概ね同様でありますので、上記連結業績見込みをご参照ください。

以 上